



小児期発症の慢性疾患患者への成人移行支援

看護学科

櫻井 育穂 准教授

【研究分野】 小児慢性疾患患者と家族の移行期支援に関する研究

【キーワード】 成人移行支援、思春期・若年成人期、小児慢性疾患

【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=136saku>



研究概要

近年の小児医療・看護の進展と社会福祉サービスの拡充により、小児期発症の慢性疾患患者の多くが成人年齢に達しており、移行（Health care transition）を促進させるための体制整備が求められています。

移行とは、「患者が成人期を迎えた際に、本来の持てる能力や機能を最大限に発揮し、その人らしい生活を送れることを目的としたプロセスを指す」と定義され、小児看護にとって患者と共に目指すべき重要な目標となっています。

私は、**思春期・若年成人期の患者主体の移行支援に関する医療者対象の生涯教育プログラムの開発**に関する研究を行っています。

講座テーマ紹介

●移行支援に関する患者・家族および医療専門職者向けの講座

【患者・家族向け】

- ・「大人の医療へむけて何を準備すれば良いの？」：移行準備に関して
- ・「移行支援って何？ どうして必要なの？」：移行の必要性に関して
- ・「親として子どもにどのように関われば良いの？」：親の役割に関して

【医療専門職向け】

- ・「移行支援の必要性と実際について」：思春期・若年成人期の患者の特徴を踏まえて
- ・「移行プログラムについて」
- ・「成人診療科における思春期・若年成人期にある患者への対応について」

●各施設における移行プログラムの作成・運営・普及に関する助言、資料作成等

- ・移行プログラムの作成、支援者養成テキストの作成等への助言
- ・チーム作り・多職種連携に関する助言
- ・事例検討における助言

●移行に関する臨床研究への助言、国内学会発表・論文作成におけるサポート

アピールポイントなど

- ・2009年よりガイドブック及びチェックリスト等を作成し、看護師への生涯教育講座を行っています。
(思春期看護研究会：<https://san-j.info/index.html>にて「看護師、医療スタッフのための「移行期支援ガイドブック」第2版」を収録。フリーダウンロード可能)
- ・日本小児科学会、日本小児リウマチ学会の移行支援に関するWGに参加させていただいています。

